

## 安心して暮らせる社会を

### 市社協が新年祝賀会

三浦市社会福祉協議会（川崎喜正会長）新年祝賀会が11日、マホロバマインズ三浦で行われた。吉田英男市長や木村謙蔵県議ほか、来賓や関係者ら約150人が集まった。

川崎会長は「三浦市の高齢化率は3割を越えようとしている。このままいけば10年後には4割前後まで達するのではないか。国、県の財政は厳しさを増している。そんな中でも高齢者が安心して暮らしていけるよう、共にスクラムを組んで幸せな社会をつくっていきたい」と挨拶した。

吉田市長は、急速に進む市内の人口減少に触れ「生まれてくる人が少なく、高齢者の割合が高くなっている。少子高齢化のスピードが高まっている」と危機感をあらわにし「社協の役割は大きい」とした。その上で「福祉とは何か、答えは助け合いだと思う。高齢者がいつまでも元気に過すた



表彰を受ける菊池恵さん(左)

めに市も連携して取り組んでいく」と挨拶した。社会福祉功労者への表彰が行われ、川崎会長から表彰状や感謝状が贈られた。受賞者は次のとおり（敬称略）。

菊池恵、阿部年弘、石渡孝子、山森純子、鈴木みどり、松原あかね、柏倉茂堤、菅静江、石井フヂエ、机るり子、社交ダンスサークル舞&雅、神奈川福祉事業協会、神奈川生命保険協会。

### 福祉協議会新年祝賀



挨拶する川崎会長